

【事務事業調査】

事務事業名	運動に関する普及啓発事業費			予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					001-040102 - 003 - 04 - 01 - 0
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当 サブリーダー	健康づくり 田中圭子	事業の分類	既存事業

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	健康増進や生きがいづくりの観点から運動の習慣づくりとして、手軽でリスクの少ないウォーキングや簡単ストレッチの運動教室を定期的に開催する。また、身近なところで実践しやすい小学校単位のウォーキングコースを設置し、コース運動量、コースのワンポイント等の立て看板を表示していく。幼児やその保護者に対する親子運動教室を開催し、親子の交流を促すとともに、ママ世代の運動の機会とする。運動の習慣づくりを支援するための方策として、日々の運動量を記入する「健康運動マイルージポイント制」を導入する。年度ごとに健康運動の目標を掲げ達成者には町長表彰や効果が見込める場合には21年度から副賞の元氣あっぷむら利用券を交付し、目標達成に対する賞賛を行なう。	誰もが気軽に参加しやすい環境を、毎月定例的に開催することにより、習慣づくり仲間づくりにつながり、健康づくりと生きがいづくりの一助となる。また、ウォーキングコースが多面化することにより、歩くことへの飽きがない。親子運動教室は運動から離れがちな、子育てで忙しいママ世代への運動の機会となる。また、母子の引きこもり予防や育児ストレス解消となり、母子が健やかに生活できる。健康運動マイルージポイント制を導入は運動や健康づくりのための生活習慣を継続していく上での励みや目標となり、活動の広がりとなる。
実績	手軽な運動を学ぶ機会として、ウォーキング教室(年5回)、すっきりリズム教室(年9回)GoGoウォーキング(年7回)を開催し、運動が習慣的に行えるよう促した。普段、運動する機会が少ない子育て中のアプローチとして、親子運動教室(年10回)を開催し、親子で楽しみながら身体を動かす機会を提供した。教室参加者へは、健康ポイント制を導入した。教室への参加や日々の運動の記録の提出に対しポイントをつけ、参加意欲を高めた。ウォーキングマップを作成し、ウォーキング教室で歩いているコースを紹介した。	健康ポイントの導入で、教室参加者(継続者)が増えた。運動が苦手であるからと、栄養教室にしか参加しなかった人も、ポイントがつくからと、運動教室に参加するようになり、少しづつ身体を動かすはじめた。ウォーキング教室を継続して実施したことにより、ウォーキングへの関心が高まり、ウォーキング教室の受講生を中心として、「高根沢町ウォーキング会」が発足し、独自の活動が始まった。すっきりリズム教室の事後アンケートでは、79%の人が運動の機会が増えたとの回答があった。親子運動教室では、運動習慣づくりもさることながら、親子のふれあいの場となった。

活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
各種運動教室参加者	560人	1,711人	ウォーキングマップを作成し、住民への啓発のため公共機関等へ配付設置した。身近な地域にコースの紹介をすることにより、散歩から始めるウォーキングのきっかけづくりとする。健診の結果説明会や健康教室等で配付し、手軽で効果がある運動の意識づけを行っていく。

事業費(計画)

細 節	金 額
1 報償費	196,000
2 消耗品	136,500
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	332,500

事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 報償費	168,000
2 消耗品	130,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	298,000

事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 報償費	126,000	
2 印刷製本費	126,000	ウォーキングコースへ看板を設置する予定であったが、道路等への設置が難しかったため、マップを作成することとしたため、消耗品から印刷製本費へ流用した。
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	252,000	

事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		298,000	
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額		298,000	
決 算	決算額		252,000	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計		0	0
	差引(一般財源)	332,500	252,000	